

平成 2 1 年 第 3 回 小 松 市 議 会 定 例 会 質 問 一 覧

(6 月 22 日 1 番 ～ 7 番 ・ 6 月 23 日 8 番 ～ 14 番)

※ 6 月 22 日

No. 1

順 番	質 問 者 氏 名	発 言 通 告 要 旨
1	灰 田 昌 典	1. 小松市政に取り組む基本姿勢 (1) 小松維新の主張とは何か 2. 財政再建に向けての基本姿勢 3. “元気ある小松”に向けての基本政策 一街なかの賑わい創出、㈱コマツ栗津工場、景気対策、企業誘致一 4. “笑顔の絶えない小松” “住んで良かった街” 福祉施策の基本的対応 5. “人づくり、子育て” 健全な小松っ子を育てる基本的教育方針 6. 副市長の選任について
2	長 田 良 一	1. 市政運営の基本姿勢について (1) 現行の行政システムと民間手法について (2) 市政の継続について 2. 財政について (1) 市債発行の基本について (2) 市債残高など財政指標の年度別目標値の設定について 3. 活力ある小松市とはどんな街のイメージか？また、具体的に何から、どう取り掛かれるのか 4. 騒音対策に関する基本協定書（10.4協定）を厳守する決意と爆音訴訟に対する感想は

順番	質問者氏名	発言通告要旨
3	梅田 利和	<p>1. 教育施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 今、一番求められている教育施策は (2) 今後、意識的に進めていきたい施策は (3) 教育現場にもっと外部人材を (4) 幼児教育の無償化 <p>2. 交流時代をリードするおもてなしのまちについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 小松市マウンテンバイク場周辺を「里山自然の森」に (2) 小松白川連絡道路について (3) 海外からの誘客について
4	吉本慎太郎	<p>1. 5月に発足した「経営改革チーム」について検証する</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 今現在の取り組み状況は (2) 目指す方向性は定まっているのか (3) 提言 <ul style="list-style-type: none"> ①行政の効率化のために各部局間の連携を密に ②迅速な対応、誠意ある対応を <p>2. 「まちなか活性化」のための新規事業案を検証する</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 駅前広場の開放と活用策について (2) 曳山常設展示について (3) 龍助町 旧松雲堂の有効活用策について (4) 「奥の細道紀行」と寺社回廊について (5) 栗津演舞場活用事業について (6) 商店街振興専門員配置について (7) 沖・清六地区における大型店進出問題に対する市長の見解は <p>3. マニフェスト（公約）について検証する</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 転職・転業支援について (2) 「小松市ものづくり条例」について

順番	質問者氏名	発言通告要旨
5	高野 哲郎	<p>1. 財政再建について</p> <p>(1) 現在の市の財政をどのように判断しているのか</p> <p>(2) 来年度は更なる税収減が予測される。財政再建と市民サービスの向上の両立が求められている。どのように取り組んでいくのか</p> <p>2. 中心市街地活性化基本計画について</p> <p>(1) 現在、策定案はどのような位置付けになっているのか</p> <p>(2) 株コマツ小松工場の閉鎖に伴い、計画案の前提条件が大きく変化した。計画案をどのように扱っていくのか</p> <p>(3) 株コマツ小松工場の広大な土地の活用について、市長ご自身の考えをお聞きしたい</p> <p>(4) 中心市街地の活性化は喫緊の課題である。国の認定を形を変えてでも受けるべきと考えるが、市長の方針をお聞きしたい</p>

順番	質問者氏名	発言通告要旨
6	片山瞬次郎	<p>1. 公共下水道事業について</p> <p>(1) 起債残高を増やさないで行う下水道事業とは、どのような手法で行うのか</p> <p>(2) 事業計画が延長された場合、どのような収支状況でどのような返済計画となるのか</p> <p>2. シニア支援について</p> <p>(1) 団塊の世代シニアクラブ支援センターの設置は</p> <p>3. 教育関係について</p> <p>(1) 「スクール・ニューディール」構想の取り組みについて</p> <p>①校庭芝生化の構想はあるのか</p> <p>②公立学校への太陽光発電パネルの推進は、交付金等の活用をして計画していくのか</p> <p>③学校におけるICT環境の整備について</p> <p>(2) 児童生徒等の健康への対応状況について</p> <p>(3) スポーツ、生涯学習、文化の支援拡充のための行政改革</p> <p>4. 「絶滅危惧種・危急種」の対策について</p> <p>5. 《シングル介護》について</p>
7	出戸 清克	<p>1. 景気停滞対策としての市の対応</p> <p>(1) 企業誘致</p> <p>(2) 定住促進支援</p> <p>(3) 中心市街地活性化事業について</p> <p>2. エコ推進活動について</p>

順番	質問者氏名	発言通告要旨
8	二木 攻	1. 小松市政における小松基地の存在をどのように考えておられるか 2. 「小松・加賀水郷構想」の早期実現への取り組みについて
9	宮川 吉男	1. 市長の思い「市民と身近な市役所」の実現について (1) 具体的な考えと実現に向けての取り組みについて 2. 小松観光都市への推進について (1) 市内神社・仏閣、子供歌舞伎、安宅の関、木場潟など素晴らしい財産（観光資源）の活用について (2) 小松～静岡便就航の活用について 3. 観光資源を活かした中山間地の活性化について (1) 大倉岳高原スキー場の通年活用について (2) 地域住民と連携しての活性化 (3) ㈱コマツ発祥の地、遊泉寺銅山跡地の活用について 4. 投票率向上への対策について (1) 投票所の設置にあたって駅周辺やショッピングセンターなど市民の利便性を考慮した場所の設置について
10	飛弾 共栄	1. 多重債務者救済対策の充実について

順番	質問者氏名	発言通告要旨
11	橋本 米子	<p>1. 一和田新市長の政治姿勢について—</p> <p>(1) 地方自治の基本理念をどう意識しているか</p> <p>①「市民は株主」、「市役所を民間企業のような仕組みに」の考え方について</p> <p>②「経営改革チーム」は新たな自治体リストラに繋がらないのか</p> <p>(2) ㈱コマツ小松工場閉鎖について</p> <p>①この間、小松市との事前協議はあったのか</p> <p>②下請け中小企業への影響をどう考えているのか</p> <p>(3) 市債残高について</p> <p>①「これ以上の市債の増加はNO!」としているが、市債残高が膨れ上がった原因についてどう考えるのか</p> <p>②大型公共事業優先から、市民の暮らし、福祉、雇用の内需拡大策への転換が必要</p> <p>(4) 「家族の笑顔 日本一」を目指して</p> <p>①後期高齢者医療制度の廃止について</p> <p>②子どもの医療費窓口無料化の実施について</p> <p>(5) 平和施策について</p> <p>①在日米軍訓練移転に伴う、日米共同訓練について</p> <p>②核兵器廃絶の世界の流れについて</p>
12	木村 厚子	<p>1. 職員の笑顔</p> <p>2. 変革力</p> <p>3. 市民に近づく</p> <p>4. バランスの取れた産業振興</p> <p>5. 教育投資と人材育成</p> <p>6. アンペアダウンへの取り組み</p>

順番	質問者氏名	発言通告要旨
13	山西 信栄	<p>1. 市の借金について</p> <p>(1) 原因について</p> <p>(2) 減少への取り組み、目標値について</p> <p>2. 小松は観光で生きていけるのか</p> <p>(1) 栗津温泉について</p> <p>(2) 小松の魅力について</p> <p>(3) 木場潟からの白山眺望について</p> <p>3. 北陸新幹線・小松空港について</p> <p>(1) 小松駅への停車について</p> <p>(2) 新幹線開通により小松空港の東京便減便への対応について</p> <p>(3) 小松空港を活かすには</p> <p>4. 市内に5、6箇所の出先機関をつくり競わせるというが</p> <p>(1) 具体的にどうするのか</p> <p>(2) 市民サービスに差が出るのでは</p> <p>(3) 出先を増やすことは行政改革に逆行するのでは</p> <p>5. 市民監査役について</p> <p>(1) 市民監査役とは。法律上の現在の監査委員との役割分担は</p> <p>6. 心を込めた行政というが</p> <p>(1) 言葉の響きはいいが、具体的には市政のどこをどう変えるのか</p>

順番	質問者氏名	発言通告要旨
14	山本 光荣	<ol style="list-style-type: none">1. 自主防災組織の充実について<ol style="list-style-type: none">(1) 組織結成率の状況と地域福祉を重視した住民連帯の防災組織について2. 無線による緊急時の市情報伝達システムについて3. 地球温暖化防止へ向けての市の取り組みについて<ol style="list-style-type: none">(1) 具体的な市の施策と目標値(2) 太陽光発電、グリーン家電の普及、エコカー4. 森林環境税の意義と使われ方<ol style="list-style-type: none">(1) 学校、保育所など公共施設木材使用の奨励策(2) 集団間伐事業について5. 保育所民営化計画の大胆な見直し<ol style="list-style-type: none">(1) 小規模保育所が対象となり、大きな所が公立で残ったのはなぜか(2) 民営化の目的は何なのか(3) 前期2 保育園の移行時のフォロー